

新しいこと はじめよう！

「わくわくセンター」が1月5日水にオープン！

今、市民によるまちづくりは、大きな時代の流れとなつて、注目されています。

市は、市民の皆さんが気軽にボランティア活動に参加するきっかけづくりや、活動のネットワークを広げられるよう、市民活動のサポート拠点「安城市民活動センター」を開設します。愛称は公募により「わくわくセンター」に決まりました。

わくわくセンターってどんなところ？

- ★自分にぴったりのボランティア活動を見つけたい！
- ★どんな活動をしている団体があるの？
- ★多くの人にボランティアに来てほしい！
- ★自分たちの活動を広くPRしたい！
- ★他の活動団体と協力してイベントを行いたい！
- ★NPOを立ち上げたいけれど、どうすればいい？

皆さんのこんな思いにお応えする場が「わくわくセンター」です！

わくわくセンターは、市民活動に関心のある人、すでに公益的な市民活動を行っている団体または個人が利用できます。

■ところ 秋葉いこいの広場レストハウス内1階

■開館時間 午前9時～午後9時

■休館日 毎週月曜日（祝日の場合は直後の平日）、年末年始（12月28日～1月4日）

■わくわくセンターの機能

施設及びロッカー、その他の機器の使用は無料です。ただし、印刷機を使用する際に、使用者は用紙をご持参ください。

■情報スペース ●定期刊行物、活動に関する書籍、パンフレットの閲覧、インターネットを利用して、市民活動の情報の収集などができます

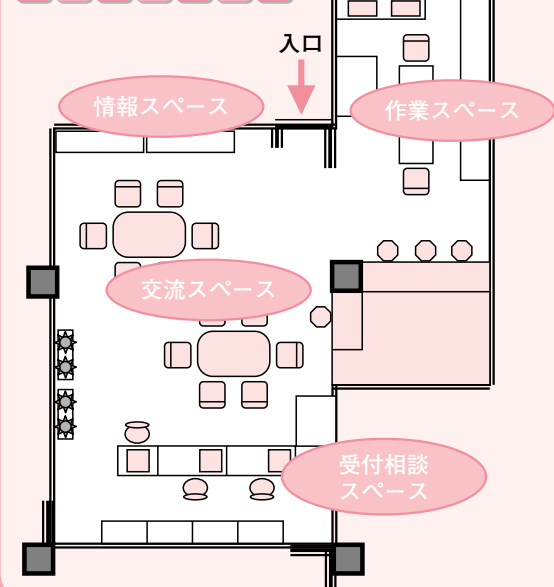
■作業スペース ●チラシや会報の作成ができる印刷機、紙折り機、裁断機、丁合機などが利用できます

※機器の使用にはセンターへの登録が必要です。

■交流スペース ●打ち合わせの場として利用できます

■受付相談スペース ●ボランティアをしたい人とボランティアを募集したい団体のマッチングや活動に関する相談などができます

館内レイアウト



■ロッカー ●活動に必要な事務用品の保管場所として利用できます

■そのほかにできること ●団体の活動内容やイベント開催の情報を発信・収集できます

■受け付け・申し込み

●わくわくセンターへの登録は、1月5日（水）から受け付けます

●ロッカーの使用申し込みは、1月5日（水）から1月25日（火）までを受付期間とし、2月1日（火）から利用できます

〔愛称募集の入選者〕

安城市民活動センターの愛称募集にたくさんのご応募をいただきありがとうございました。選考の結果、愛称を「わくわくセンター」に決定いたしました。

特賞：大江和子さん（横山町）

入賞：本多麻美さん（赤松町） 蜂須賀一二さん（桜井町） 平岩龍也さん（弁天町）



やすお 寺田康生さん

センターの管理運営をするNPO愛知ネットの寺田さん（センター長）と大野さん（スタッフ）。今回、2人に市民活動について話していただきました。

わくわくセンターを市民活動の火付け役に

NPO愛知ネットは市民活動の支援のための事業を進めています。地元安城市の市民活動を私たちの力で盛り上げ、促進させることができました。と思っています。

わくわくセンターは、市民活動を活発にしていく火付け役になりたいと考えています。実際に活動をするのは市民の皆さん。その皆さんが活動するのに便利な場を提供します。例えば、ここにすれば印刷機があつて冊子の作成ができた、活動するときに「こうすると便利だよ」、「こう

ひろし 大野裕史さん



自然にまちを変えていくつとする流れができる

このセンターを通して、市民がすすんで声を出し、提案して「まち」を変えていくような流れがいいなと思っています。人が集まって話をし、活動することで、自然にまちを変えていくつとする流れができてくるという気がします。

市民活動の歴史をひもといていくと、古いタイプの市民活動は「要求獲得型」でした。行政の窓口に行つて「こういうことをやってくれなきゃ困るじゃないか」というやり方で、どれだけ成果を獲得できたかが評価の対象になっていました。でも今の市民活動は行政と市民が一緒になつて「協働でいいまちをつくりましょう」というかたちの「協働参画型」なんです。そんなまちづくりのためにこのセンターが必要で、また行政が市民の声を聴く場所でもあると思

問い合わせ

安城市民活動センター
（☎・FAX<71>0601）
または市民活動課

